

施工方法と施工上の注意

一、施工工具は

- 1、推奨工具の使用が不可欠です。

ドライバードリル(回転専用トルク調整機能付き) 下記は2020.03現在を基にしています。

| | | |
|--|--|---|
| コードレスドライバードリル HiKOKI(旧日立工機) DS18DBL2 18V 0~1,800回転  | 充電式ドライバードリル マキタ DF484D 18V 0~2,000回転  | テクス用ドライバ HiKOKI(旧日立工機) W8V 100V 700~1,700回転  |
|--|--|---|

- 2、インパクトレンチ・インパクトドリルは、鉄下地には所要の穴開け及び締結が出来ません。

⇒ネジ破断・リセス及びビットの破損を招きます。

二、普及品及び高耐久品にはナット可動式とナット固定式があります。

⇒適応下地・適応壁厚(締結下地厚さを含む)で品番を選択します。

- 1、外壁材施工時と同じ状態で下地に締結を行います。
⇒目地又はジョイント部から下地に締結するのが基本です。
- 2、ALCパネル・ECP(押出成形セメント板)等で鉄下地の裏にコンクリートの打設がある場合は締結出来ません。ツイン・3WAYタイプを使用して下さい。

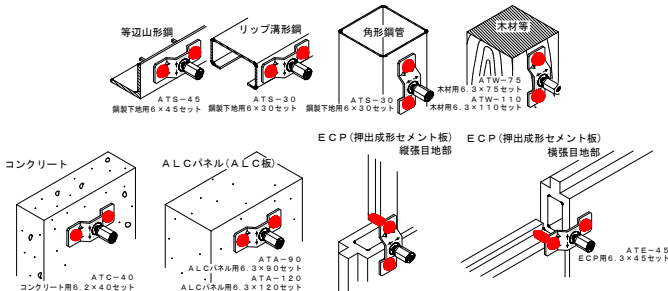
三、外壁材に直接締結するツイン・3WAY・プレコンは、必要な強度を得るため

2本(ツイン)、2本・3本・4本(3WAY)締結用があります。(プレコンを除く)

⇒カタログ記載の適応下地・適応壁厚で品番を選択します。

- 1、ALCパネルの場合は、下穴不要です。
- 2、ECPの場合は、別売りECP専用ドリル(ECPD-H51)で中空部分に下穴を開けます。
⇒不使用の場合は、所要の強度が得られないため受注致しかねます。
- 3、コンクリートの場合は、下穴径×深さ目安の穴開けが必要です。
⇒推奨工具はドライバードリル(回転専用トルク調整機能付き)又はインパクトドライバーです。

■施工例



使用上の注意

GSアシバツナギ ツイン

| 品番 | 下地厚(mm) | 最大引張強度N(kgf) t=mm | |
|---|------------------------|---|--------------|
| ATS-45 鋼製下地用 | 鉄最大13.0 | 6.0t-12,258(1,250) | |
| ATS-30 鋼製下地用 | 鉄1.6~3.2 | 1.6t- 4,600 (469) 2.3t-11,600(1,183) 3.2t-13,000(1,326) | |
| ATW-75 木材用 | 木60以上 | 埋め込み深さ:60mm 7,845 (800) | |
| ATW-110 木材用 | | | |
| ATC-40 コンクリート用 | コンクリート60以上 | 埋め込み深さ:37mm 下穴径φ5.5 圧縮強度33.4N/mm ² 8,826 (900) | |
| ATA-90 ALCパネル用 | ALCパネル(ALC板) 100 | 埋め込み深さ:87mm 圧縮強度3.92N/mm ² 7,240 (738) | |
| ATA-120 ALCパネル用 | ALCパネル(ALC板) 150 | 埋め込み深さ:117mm 圧縮強度3.92N/mm ² 9,440 (963) | |
| ATE-45 ECP用 <small>*下穴加工用別売りECP回転専用ドリル ECP D-H5.1で中実に必ず下穴を開けて下さい。</small> | ECP(押出成形セメント板) 50以上 | 中空部厚12mm | 7,956 (811) |
| | | 中空部厚14mm | 9,360 (954) |
| | | 中空部厚15mm | 9,828(1,002) |

推力 鋼製下地の場合：20Kgf～25Kgf ALCパネル(ALC板)の場合：5Kgf～10Kgf
木材、コンクリート、ECP(押出成形セメント板)の場合：10Kgf～20Kgf
但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴開け・ネジ立てでの効率低下を招きます。

- ①(社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
②許容荷重＝最大引張強度÷安全率(法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安にして下さい)
③機能的には引張強度≠圧縮強度ですが、(社)仮設工業会編の足場工事マニュアル記載の通り、壁当てジャッキの使用は施工案件毎に検討対応が必要です。
④鋼製下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、**回転を下げてトルク調整**をして締結して下さい。
⑤付属の専用ネジは**2本均等**に締め付けて下さい。締め過ぎると著しく引張強度の低下やトラブルの原因となります。
⑥劣化したALCパネル(ALC板)又は締め過ぎの場合は、強度低下や使用出来ない場合があります。
⑦木質、部位、樹齢、水分含有率、ねじ込み深さにより**強度**が異なりますので考慮して使用して下さい。
⑧壁つなぎの**雄ネジ部**に傷や錆び等のままで接続しないで下さい。

■適所に各々には、下穴処理ビスがあります。(プレコンを除く)



普及品 AWS・AFS-76
左 ユニクロ 右 ステンめっき



高耐力品 SM・SF8×78
左 ユニクロ 右 ステンめっき



ツイン ATE-45・ATA-90
左 ステンめっき 右 セラミック

イイファス株式会社/株式会社シングテックファスナー

詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp